

## 令和2(2020)年度 県立足利工業高等学校における学校評価実施報告書

このことについて、栃木県立学校における学校評価実施要綱第5条の規定により、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 自己評価について

##### (1) 本年度の重点目標

###### ○重点目標

- ①学習意欲の高揚
- ②基本的な生活習慣の確立と自己有用感の醸成
- ③進路指導の充実と社会人基礎力の育成
- ④地域から信頼され、選ばれる学校づくり
- ⑤チームとしての教育力を高め、協働する組織づくり

##### (2) 評価項目

- ①学習指導 ②基本的な生活習慣の確立 ③進路指導 ④特別活動・キャリア教育 ⑤参画・経営

##### (3) 評価の観点、評価基準等

###### ①学習指導

- ・チャイム to チャイムを意識し、学習の意義を理解させ、日々の授業を大切にしている。
- ・「朝の学習」を充実させ、学びの集団を形成している。
- ・学習環境を整えるために5S運動を推進し、身の回りの整理・整頓・清掃を徹底している。
- ・年間計画やシラバスに沿った学習指導を行い、主体的・対話的で深い学びの実現を目指している。
- ・研究指定事業を活用し、指導と評価の一体化を進めるなど授業改善や教材研究に努めている。
- ・生徒の能力や実態に合わせた個別指導を充実させている。

###### ②基本的な生活習慣の確立

- ・あいさつを励行させ、正しい言葉遣いが身に付いている。
- ・交通マナーや携帯電話マナーの向上などに取り組み、規範意識が身に付いている。
- ・学校行事や生徒会活動、部活動などをとおして自主性・自立性を育む。
- ・自分は大切な存在で、社会の重要な構成員であることを自覚させている。
- ・人権教育や主権者教育を推進し、いじめや差別のない社会の構築に寄与させている。
- ・教育相談を充実させ、安全安心な教育環境を確保し、予防的な生徒指導に努めている。

###### ③進路指導

- ・とちぎの高校生じぶん未来学等を通して、自分の性格や適性など自己理解に努めている。
- ・学年に応じたキャリア教育を充実させ、生徒一人一人の進路実現を図っている。
- ・「社会人基礎力」(経済産業省2006年提唱)は職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力であり、具体的には「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力をさまざまな教育活動の中で育成している。

###### ④特別活動・キャリア教育

- ・出前授業や中学校訪問などを活用し、中学生から選ばれる学校を目指している。
- ・地域や関係機関との連携を充実させ、学校ホームページでタイムリーに情報発信している。
- ・自己評価及び学校関係者評価に関して、目標と手段を区別しながら教育活動を検証している。
- ・内側にも開かれた学校評価を推進し、課題解決に向けた情報共有に努めている。

###### ⑤参画・経営

- ・ハウ・レン・ソウ(報告・連絡・相談)を重視し、教育的愛情と使命感を持って指導している。
- ・風通しの良い職場環境づくりを心掛け、常に教育活動の改善を図っている。
- ・全ての教育活動の基盤となる安全確保を重視している。
- ・意欲的に教職員としての資質・能力の向上に取り組み、充実した教職員生活を目指している。

#### (4) 評価実施時期及び実施方法

評価実施時期	実施方法 (内容)
5月～10月	アンケートの設問作成 (マークシート方式)
11月頃～	アンケートの実施 (生徒、保護者、職員 同時配布) および集計
1月上旬	アンケートの結果検討
1月中旬	自己評価の実施および集計
1月下旬	自己評価の検討および問題点・改善策の洗い出し
1月下旬	実施する改善策の検討
1月下旬～	学校関係者評価 (学校評議員会) の実施 (書面・郵送による実施)
2月中旬	改善策の実施
3月上旬	実施した改善策の評価

#### (5) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

1月下旬頃、学校関係者評価委員会 (学校評議員) において自己評価並びに問題点・改善策を公表し、助言を受ける。自己評価ならびに問題点・改善策は、次年度に発行するPTA新聞に公表する。

また、ホームページ上でも公開し、PTA総会等でも適宜報告する。

#### (6) 評価結果

令和2 (2020) 年度 学校評価アンケートのまとめ (別紙)

集計結果を記号化し、各設問の回答「はい」と「どちらかと言えばはい」の合計の割合 (%) を「A」は80%以上、「B」は60%以上、それ未満は「C」とした。

#### (7) 中間的な評価を実施し見直しを行ったこと

1月の職員会議で、アンケートの集計結果を公表した。

2月の会議に向けて、集計結果に伴う「問題点並びにその改善案」の検討時期を設けた。

#### (8) 評価結果に基づく今後の改善方策等

校務分掌の各部・係を中心に、関係するそれぞれの課題とその対応策を継続して取り組み、改善につなげる。

### 2 学校関係者評価について

#### (1) 評価組織 (評価者)

・学校関係者評価委員 (学校評議員)

#### (2) 評価実施時期及び実施方法

1月下旬頃に学校関係者評価を実施するなか、アンケート結果、職員の自己評価、問題点と改善策を公表し、それに対する学校評価委員会での検討結果 (分析・改善方策) を報告して、助言・評価を受ける。

#### (3) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

年度末頃に、学校関係者評価とそれに関連した改善点を検討し、ホームページ上で公開する。また、PTA総会等でも適宜報告する。

#### (4) 評価結果

令和2 (2020) 年度学校評価アンケート結果 (別紙)

#### (5) 評価結果に基づく今後の改善方策等

校務分掌の各部・係を中心に、関係するそれぞれの課題とその対応策を継続して取り組み、改善につなげる。

### 3 学校からの情報提供について (学校評価に係る取組を除く)

#### (1) 提供内容

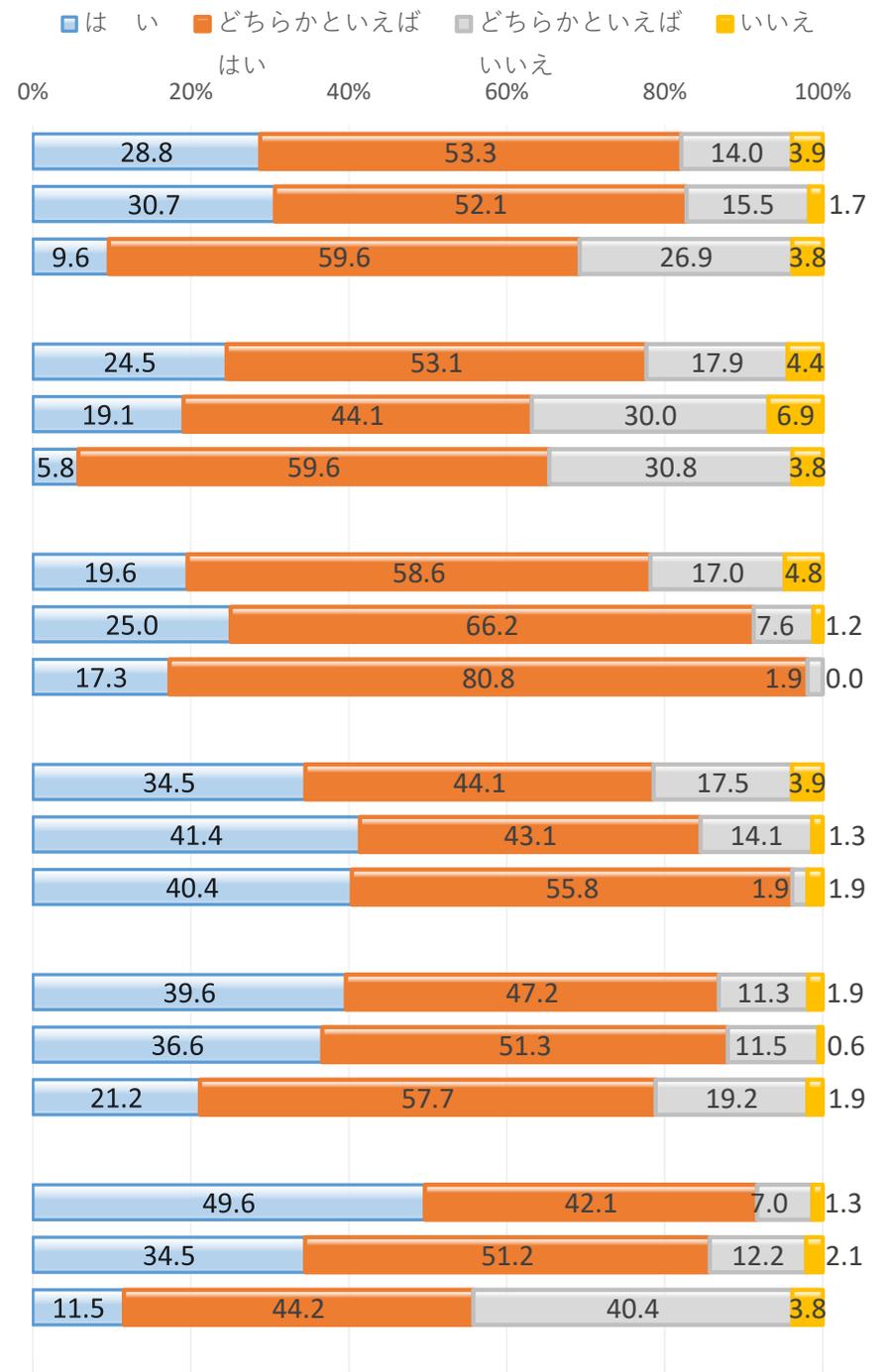
- ① 学校行事・年間計画・月間計画等
- ② 教育活動成果の発信 (資格取得・部活動大会報告等)
- ③ 進路情報
- ④ 教育活動内容の発信
- ⑤ 入学者選抜情報の提供

#### (2) 提供方法

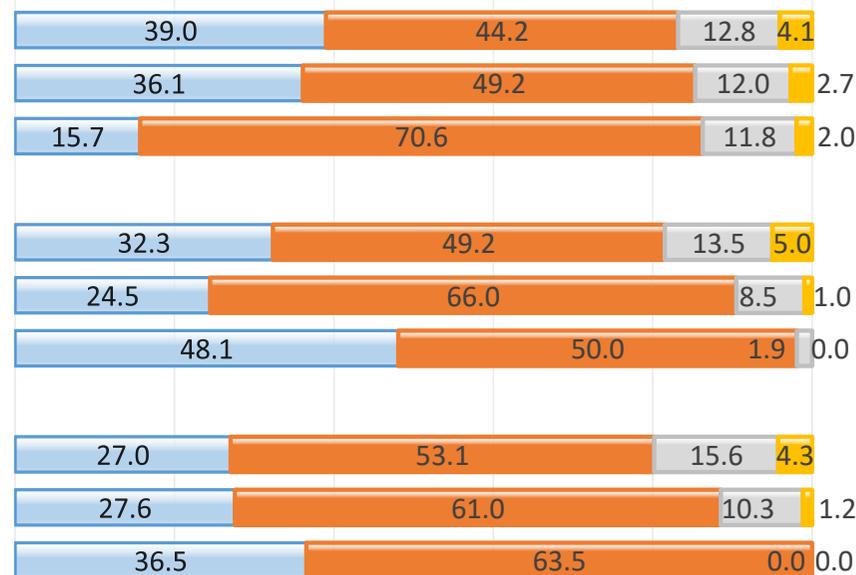
- ① 生徒や保護者への配付資料に加え、ホームページを活用し、生徒・保護者に最新情報を広報に発信する。
- ② 地域の回覧板等を利用した情報提供を行う。
- ③ 中学校訪問や校外施設を利用した広報活動の際、情報提供を行う。

教育目標	令和2(2020)年度 学校評価アンケート結果 回答数(生徒:542、保護者525、職員52)					評価	学校評価	関係者評価
	はい	どちらかといえば	どちらかといえば	いいえ	いいえ			
1 学習意欲の高揚	設問1	生	私は、学習の意義を理解し、日々の授業を大切にしている。	28.8	53.3	14.0	3.9	A
		保	お子様は、学習の意義を理解し、日々の授業を大切にしている。	30.7	52.1	15.5	1.7	A
		職	大半の生徒は、学習の意義を理解し、日々の授業を大切にしている。	9.6	59.6	26.9	3.8	B
	設問2	生	私は、5S運動を推進し、身の回りの整理・清掃・整頓を徹底している。	24.5	53.1	17.9	4.4	B
		保	お子様は、5S運動を推進し、身の回りの整理・清掃・整頓を徹底している。	19.1	44.1	30.0	6.9	B
		職	大半の生徒は、5S運動を推進し、身の回りの整理・清掃・整頓を徹底している。	5.8	59.6	30.8	3.8	B
	設問3	生	本校は、わかりやすい授業を行うために工夫をしている。	19.6	58.6	17.0	4.8	B
		保	本校は、わかりやすい授業を行うために工夫をしている。	25.0	66.2	7.6	1.2	A
		職	本校は、わかりやすい授業を行うために工夫をしている。	17.3	80.8	1.9	0.0	A
	設問4	生	私は、資格取得に積極的に取り組んでいる。	34.5	44.1	17.5	3.9	B
		保	お子様は、資格取得に積極的に取り組んでいる。	41.4	43.1	14.1	1.3	A
		職	大半の生徒は、資格取得に積極的に取り組んでいる。	40.4	55.8	1.9	1.9	A

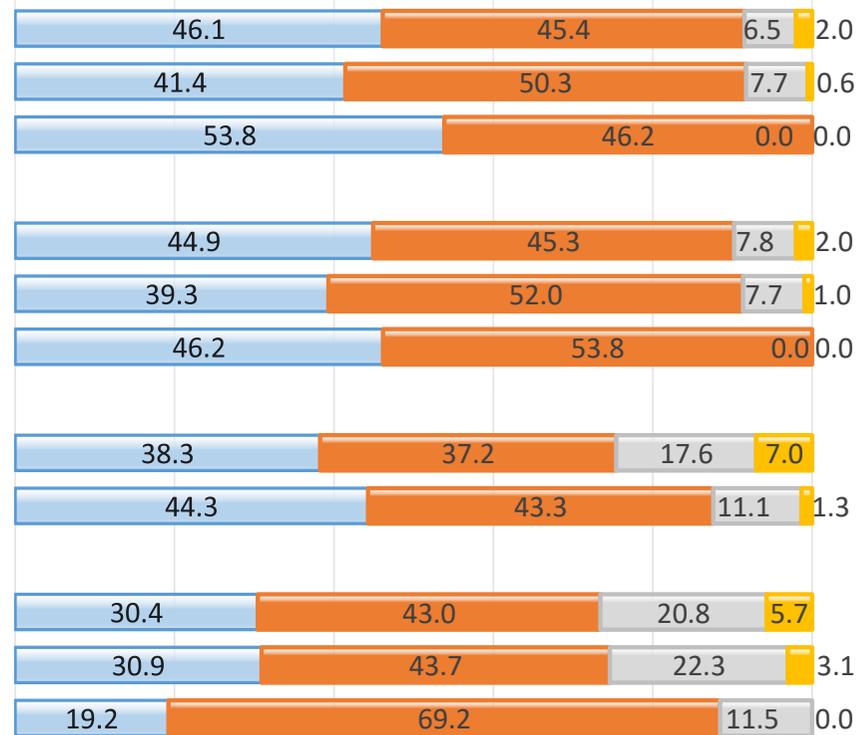
2 基本的生活習慣の	設問5	生	私は、挨拶を励行し、正しい言葉遣いを身に付けている。	39.6	47.2	11.3	1.9	A
		保	お子様は、挨拶を励行し、正しい言葉遣いを身に付けている。	36.6	51.3	11.5	0.6	A
		職	大半の生徒は、挨拶を励行し、正しい言葉遣いを身に付けている。	21.2	57.7	19.2	1.9	B
	設問6	生	私は、交通マナーや携帯電話マナーの向上に取り組み、規範意識を身に付けている。	49.6	42.1	7.0	1.3	A
		保	お子様は、交通マナーや携帯電話マナーの向上に取り組み、規範意識を身に付けている。	34.5	51.2	12.2	2.1	A
		職	大半の生徒は、交通マナーや携帯電話マナーの向上に取り組み、規範意識を身に付けている。	11.5	44.2	40.4	3.8	C



確立と自己有用感の醸成	設問7	生	本校では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。	39.0	44.2	12.8	4.1	A	↑	↑
		保	本校では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。	36.1	49.2	12.0	2.7	A		
		職	本校では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。	15.7	70.6	11.8	2.0	A		
	設問8	生	本校は、いじめへの気づきや対応に、真摯に取り組んでいる。	32.3	49.2	13.5	5.0	A		
		保	本校は、いじめへの気づきや対応に、真摯に取り組んでいる。	24.5	66.0	8.5	1.0	A		
		職	本校は、いじめへの気づきや対応に、真摯に取り組んでいる。	48.1	50.0	1.9	0.0	A		
	設問9	生	本校は、教育相談活動が充実している。	27.0	53.1	15.6	4.3	A		
		保	本校は、教育相談活動を充実させ、予防的な生徒指導に努めている。	27.6	61.0	10.3	1.2	A		
		職	本校は、教育相談活動を充実させ、予防的な生徒指導に努めている。	36.5	63.5	0.0	0.0	A		



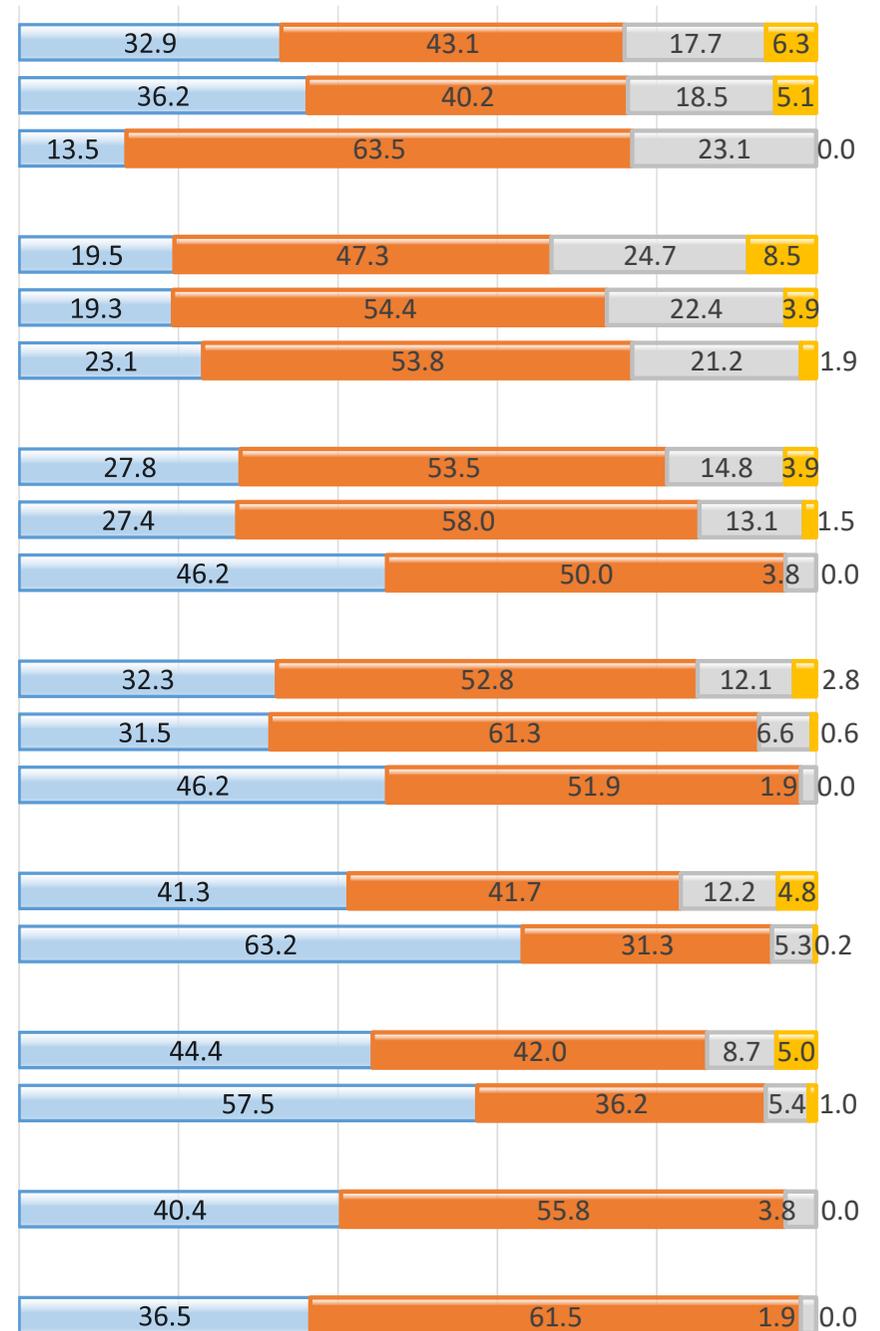
3 進路指導の充実と社会人基礎力の育成	設問10	生	本校の教員は、進路に関する相談に誠実に対応している。	46.1	45.4	6.5	2.0	A	A	A
		保	本校の教員は、進路に関する相談に誠実に対応している。	41.4	50.3	7.7	0.6	A		
		職	本校の教員は、進路に関する相談に誠実に対応している。	53.8	46.2	0.0	0.0	A		
	設問11	生	本校の教員は、生徒の早期進路決定に向け、適切に指導している。	44.9	45.3	7.8	2.0	A		
		保	本校の教員は、生徒の早期進路決定に向け、適切に指導している。	39.3	52.0	7.7	1.0	A		
		職	本校の教員は、生徒の早期進路決定に向け、適切に指導している。	46.2	53.8	0.0	0.0	A		
	設問12	生	将来のことについて、家族で話し合うことがある。	38.3	37.2	17.6	7.0	B		
		保	将来のことについて、家族で話し合うことがある。	44.3	43.3	11.1	1.3	A		
	設問13	生	私は、進路目標を持ち、その実現に向けて努力している。	30.4	43.0	20.8	5.7	B		
		保	お子様は、進路目標を持ち、その実現に向けて努力している。	30.9	43.7	22.3	3.1	B		
		職	大半の生徒は、進路目標を持ち、その実現に向けて努力している。	19.2	69.2	11.5	0.0	A		



4	設問14	生	私は、生徒会活動やHR活動、部活動や学校行事に積極的に参加している。	32.9	43.1	17.7	6.3	B	A	A
		保	お子様は、生徒会活動やHR活動、部活動や学校行事に積極的に参加している。	36.2	40.2	18.5	5.1	B		
		職	大半の生徒は、生徒会活動やHR活動、部活動や学校行事に積極的に参加している。	13.5	63.5	23.1	0.0	B		
	設問15	生	本校は、地域のボランティア活動や中学校・他の高校との交流が盛んである。	19.5	47.3	24.7	8.5	B		
		保	本校は、地域のボランティア活動や中学校・他の高校との交流が盛んである。	19.3	54.4	22.4	3.9	B		
		職	本校は、地域のボランティア活動や中学校・他の高校との交流が盛んである。	23.1	53.8	21.2	1.9	B		
	設問16	生	本校は、ホームページやパンフレット配布等で学校の情報発信を適切に行っている。	27.8	53.5	14.8	3.9	A		
		保	本校は、ホームページやパンフレット配布等で学校の情報発信を適切に行っている。	27.4	58.0	13.1	1.5	A		
		職	本校は、ホームページやパンフレット配布等で学校の情報発信を適切に行っている。	46.2	50.0	3.8	0.0	A		
	設問17	生	本校では、生徒・保護者および地域住民等への対応について、誠意を持って行っている。	32.3	52.8	12.1	2.8	A		
		保	本校では、生徒・保護者および地域住民等への対応について、誠意を持って行っている。	31.5	61.3	6.6	0.6	A		
		職	本校では、生徒・保護者および地域住民等への対応について、誠意を持って行っている。	46.2	51.9	1.9	0.0	A		
	設問18	生	私は、本校に入学して良かったと思う。	41.3	41.7	12.2	4.8	A		
		保	お子様を、本校に入学させて良かったと思う。	63.2	31.3	5.3	0.2	A		
	設問19	生	学校は安全で、安心して登校できる。	44.4	42.0	8.7	5.0	A		
		保	学校は安全で、安心して登校させることができる。	57.5	36.2	5.4	1.0	A		

※5	17	職	本校では、報告・連絡・相談を重視し、教育的愛情と使命感を持って教育活動に当たっている。	40.4	55.8	3.8	0.0	A	A	A
	19	職	本校の教員は、教員としての資質・能力の向上に取り組み、常に教育活動の改善を図っている。	36.5	61.5	1.9	0.0	A		

※ 5 チームとしての教育力を高め、協働する組織づくり（職員のみ設問）



## 令和2(2020)年度 足利工業高等学校 学校関係者評価

### 1 評価結果

新型コロナウイルス感染の状況を鑑み、書面での意見聴取を行わせていただきました。主な意見は以下の通りです。

#### (1) 学校評価の結果についてのご意見

##### ○アンケート結果から感じられたこと

- ・「学習意欲の高揚」の評価BをAになるように努力してほしい。特に、5Sの評価は、生徒・保護者・職員すべてが「B」評価のため、原点に戻り、まずは3S（整理・清掃・整頓）から進めてほしい。
- ・全体的に保護者と生徒は同様の意見であるが、職員との差が見られる。生徒と職員では立ち位置が違うのでこのような傾向が生じるものと思いますが、その要因を分析し解明することがギャップを埋め、意識の共有化に繋がるものと考えます。
- ・全体的に高評価であることから、信頼される高校であることを再認識しました。
- ・多くの項目で8割を超える高評価であり素晴らしい成果であると感じました。「交通マナーや携帯マナー」についてのC評価は、校門周辺で毎日指導に取り組まれている先生方の姿を拝見しており、意外な結果でした。
- ・職員の評価が低く出ているものがいくつかありますが、他校から赴任された先生方は前任校と比べてしまうのではないのでしょうか。そのギャップを埋める必要を感じます。

##### ○今後、本校全日制で取り組んでいくべきこと

- ・全体的には良いと思いますが、あえて指摘させていただくとすれば、5S運動に力を注いでいると思いますが評価が「B」というのは少々物足りなさを感じます。また、交通マナーについても自転車の右側通行を散見しますので、安全面からもさらなる指導を期待しています。
- ・「学習意欲の高揚」では、「わかりやすい授業」の生徒評価が低いことから、その要因を詳しくつかみ改善することが取り組み課題だと思います。
- ・A評価が多い結果を踏まえ、継続して取り組むことが最優先だと思います。
- ・「報告・連絡・相談」を重視し、教育的愛情と使命感を持って教育活動の改善や、教員としての資質・能力の向上に取り組み、常に教育活動の改善に努めることだと思います。協働する組織の力は大きいです。
- ・設問にある「学習意欲の高揚」における「わかりやすい授業を行うための工夫をしている」の職員の結果において、「いいえ」の回答が0%であることは素晴らしい努力であると思います。
- ・評価の低い項目については、生徒会等と話し合いながら共通理解を図り取り組んでいくと良いと思います。また、他校や地域とのつながり強化することで学校としての評価も良くなっていくと思います。

#### (2) 今後の本校の在り方についてのご意見

##### ○地域の皆さんは本校全日制をどのような学校だと認識していると思いますか

- ・足利市のものづくりの原点が足工の生徒であると思います。
- ・地域産業の発展に貢献する生徒を輩出することが目的の一つであると考えています。

- ・社会人として、将来必要とされる基本的な考え方・行動を身に付けさせる学校。
- ・特色ある教育活動の取り組みとして、職場実習や高大連携、高校生未来の職業人育成事業、5 S 運動、学生チャレンジショップ等、地域産業を支える人材育成に地元企業との連携を図り、キャリア教育の充実に向けて努力されている足工に、地域の方々は期待していると確信いたします。
- ・企業の即戦力として期待される人材を育成できる学校だと思います。

**○地域の皆さんが本校全日制に期待することは何だと思えますか**

- ・ひとりでも多くの生徒がものづくりの楽しさを学ぶことを期待しています。
- ・伝統校としての規律正しい教育により、社会で即活躍できる生徒の育成。
- ・地域住民への対応に誠意を持って対応することだと思います。礼儀（挨拶）、時間を守る、身だしなみ等、人として基盤は社会人となってすぐに培えるものではないからこそ期待されることだと思います。
- ・企業の即戦力を育成してくれる学校として期待していると思います。

**○本校全日制はどのような生徒を育てていく必要があると思えますか**

- ・自主性を育ててほしいと思います。
- ・社会人としての資質の一つに「自らの責任において判断し、行動する力」があると思っています。まずは、他人に頼らず自らの力で生きて行こうとする、そんな自立した生徒を育ててほしいと思います。
- ・目標を定め、その目標達成に向けて努力する生徒。
- ・足工高の学校経営方針に基づき「地域とともにある学校」づくりに教職員一丸となって取り組まれていることを継続していくことに尽きると思います。
- ・社会に出て役立つ生徒、自信を持って活動できる生徒を育てていくことが必要だと思います。